

年間授業計画

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科：地理歴史 科目：歴史総合 単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 A組～H組

使用教科書：（帝国書院 明解 歴史総合）

教科 地理歴史

の目標： 社会的事象の歴史的新見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】 知識：近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。
技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史総合

の目標： 社会的事象の歴史的新見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、少子高齢化、情報化、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての地理的・社会的技能や地理的新見方、考え方を習得する資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識：近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
・歴史とは何か。 【知識及び技能】諸地域世界の成立と発展を地図資料とあわせて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】諸地域世界の特質を多面的・多角的に考察している。 【学びに向かう力、人間性等】諸地域世界の成立と発展について、主体的に課題を設定し追究している。	・東アジア・南アジア・東南アジア・西アジア・ヨーロッパを題材に、諸地域世界の形成や発展について社会的・文化的な特質について学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で活用する。	【知識・技能】諸地域世界の成立と発展を地図資料とあわせて理解しているか。 【思考・判断・表現】諸地域世界の特質を多面的・多角的に考察しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】諸地域世界の成立と発展について、主体的に課題を設定し追究しているか。	○	○	○	1
・明治維新と日本の立憲体制 【知識及び技能】明治維新の諸改革や外国との関係、立憲体制の成立について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】日本と清・朝鮮・ロシアとの外交関係について、史料や地図をもとに考察している。 【学びに向かう力、人間性等】自由民権運動や立憲体制の成立について、主体的に課題を設定し追究している。	・明治維新の諸改革や外国との関係、文明開化や自由民権運動、大日本帝国憲法の特質について学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で活用する。	【知識・技能】明治維新の諸改革や外国との関係、立憲体制の成立について理解しているか。 【思考・判断・表現】日本と清・朝鮮・ロシアとの外交関係について、史料や地図をもとに考察しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】自由民権運動や立憲体制の成立について、主体的に課題を設定し追究しているか。	○	○	○	2
・帝国主義の展開とアジア 【知識及び技能】帝国主義やアフリカ分割、日清戦争や日露戦争について地図資料とあわせて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】第2次産業革命や日本における産業革命の特質、列強の二極分化について多面的・多角的に考察している。 【学びに向かう力、人間性等】日露戦争の国内外における影響について、資料等をもとに意欲的に追究しようとしている。	・日清・日露戦争や帝国主義の成立、世界分割、列強の二極分化について学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で活用する。	【知識・技能】帝国主義やアフリカ分割、日清戦争や日露戦争について地図資料とあわせて理解しているか。 【思考・判断・表現】第2次産業革命や日本における産業革命の特質、列強の二極分化について多面的・多角的に考察しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】日露戦争の国内外における影響について、資料等をもとに意欲的に追究しようとしているか。	○	○	○	13
定期考査			○	○		
・帝国主義の展開とアジア 【知識及び技能】帝国主義やアフリカ分割、日清戦争や日露戦争について地図資料とあわせて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】第2次産業革命や日本における産業革命の特質、列強の二極分化について多面的・多角的に考察している。 【学びに向かう力、人間性等】日露戦争の国内外における影響について、資料等をもとに意欲的に追究しようとしている。	・日清・日露戦争や帝国主義の成立、世界分割、列強の二極分化について学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で活用する。	【知識・技能】帝国主義やアフリカ分割、日清戦争や日露戦争について地図資料とあわせて理解しているか。 【思考・判断・表現】第2次産業革命や日本における産業革命の特質、列強の二極分化について多面的・多角的に考察しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】日露戦争の国内外における影響について、資料等をもとに意欲的に追究しようとしているか。	○	○	○	5
・第一次世界大戦と大衆社会 【知識及び技能】第一次世界大戦や戦間期の国際社会の動向について地図資料とあわせて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】アジア・アフリカの民族運動や大衆化などの特質について、多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】第一次世界大戦後の社会の特質について学んだ概念を活用するなどして自ら積極的に追究しようとしている。	・第一次世界大戦、ロシア革命、戦間期の国際社会の動向、大量消費社会の到来、労働運動や民族運動の高揚などについて学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で活用する。	【知識及び技能】第一次世界大戦や戦間期の国際社会の動向について地図資料とあわせて理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】アジア・アフリカの民族運動や大衆化などの特質について、多面的・多角的に考察しているか。 【学びに向かう力、人間性等】第一次世界大戦後の社会の特質について学んだ概念を活用するなどして自ら積極的に追究しようとしているか。	○	○	○	8
定期考査			○	○		

	<p>・経済危機と第二次世界大戦 【知識及び技能】戦間期の国際社会の変化について地図資料とあわせて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】全体主義やファシズムの特質について、多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】第二次世界大戦に至る経緯などについて自ら課題を設定するなどして意欲的に追究しようとしている。</p>	<p>・世界恐慌やファシズムの台頭、日本における軍国主義の台頭、日中戦争や第二次世界大戦、太平洋戦争などについて学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で活用する。</p>	<p>・経済危機と第二次世界大戦 【知識及び技能】戦間期の国際社会の変化について地図資料とあわせて理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】全体主義やファシズムの特質について、多面的・多角的に考察しているか。 【学びに向かう力、人間性等】第二次世界大戦に至る経緯などについて自ら課題を設定するなどして意欲的に追究しようとしているか。</p>	○	○	○	15
	<p>・戦後の国際秩序と日本の改革 【知識及び技能】戦後の国際秩序や占領下の日本の諸改革について地図資料とあわせて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】冷戦構造の歴史的な起源について、多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】冷戦の深まりや朝鮮戦争などについて自ら課題を設定するなどして意欲的に追究しようとしている。</p>	<p>・大西洋憲章など戦時中の連合国の国際秩序の抗争や冷戦の起源、朝鮮戦争やアジアにおける植民地の独立、占領下の日本における諸改革などについて学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で活用する。</p>	<p>・戦後の国際秩序と日本の改革 【知識及び技能】戦後の国際秩序や占領下の日本の諸改革について地図資料とあわせて理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】冷戦構造の特質について、多面的・多角的に考察しているか。 【学びに向かう力、人間性等】冷戦の深まりや朝鮮戦争などについて自ら課題を設定するなどして意欲的に追究しようとしているか。</p>	○	○	○	6
	定期考査			○	○		
	<p>・冷戦と世界経済 【知識及び技能】冷戦の深まりや雪どけ、キューバ危機、デタント、新冷戦などについて地図資料とあわせて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】日本の東アジア外交について資料に基づいて、多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】冷戦構造の変化などについて自ら課題を設定するなどして意欲的に追究しようとしている。</p>	<p>・雪どけや多極化などの冷戦構造の変化や日本における高度経済成長、外交政策などについて学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で活用する。</p>	<p>・冷戦と世界経済 【知識及び技能】冷戦の深まりや雪解け、キューバ危機、デタント、新冷戦などについて地図資料とあわせて理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】日本の東アジア外交について資料に基づいて、多面的・多角的に考察しているか。 【学びに向かう力、人間性等】冷戦構造の変化などについて自ら課題を設定するなどして意欲的に追究しようとしているか。</p>	○	○	○	6
	<p>・グローバル化する世界 【知識及び技能】東欧革命や冷戦の終焉などについて地図資料とあわせて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】それまでの戦争とアフガニスタンやイラクでの戦争について、多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】地域紛争などについて自ら課題を設定するなどして意欲的に追究しようとしている。</p>	<p>・東欧革命、天安門事件、冷戦の終焉、湾岸戦争、対テロ戦争などをグローバル化の概念理解を促しながら学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で活用する。</p>	<p>・グローバル化する世界 【知識及び技能】東欧革命や冷戦の終焉などについて地図資料とあわせて理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】それまでの戦争とアフガニスタンやイラクでの戦争について、多面的・多角的に考察しているか。 【学びに向かう力、人間性等】地域紛争などについて自ら課題を設定するなどして意欲的に追究しようとしているか。</p>	○	○	○	5
	定期考査			○	○		
3 学 期	<p>・現代の課題 【知識及び技能】現代の世界および日本の諸課題などについて地図資料とあわせて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】環境問題などのグローバルな課題について、資料に基づき、多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】紛争や貧困、人権をめぐる諸課題や環境問題などについて自ら課題を設定するなどして意欲的に追究しようとしている。</p>	<p>・環境問題、地域紛争、地域統合の諸課題、貿易面での諸課題などについて学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で活用する。</p>	<p>・現代の課題 【知識及び技能】現代の世界および日本の諸課題などについて地図資料とあわせて理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】環境問題などのグローバルな課題について、資料に基づき、多面的・多角的に考察しているか。 【学びに向かう力、人間性等】紛争や貧困、人権をめぐる諸課題や環境問題などについて自ら課題を設定するなどして意欲的に追究しようとしているか。</p>	○	○	○	15
	定期考査			○	○		

高等学校 令和7年度（2学年用）教科

公民 科目 公共

教科： 科目： 公共

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ H 組

使用教科書：（詳述公共（実教出版））

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】

選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】

現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて攻勢に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】

よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するために手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身につける。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生きる国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>第1編 公共の扉</p> <p>第1章 社会を作る私たち</p> <p>【知識及び技能】 自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めさせる。</p>	<p>1. 生涯における青年期の意義</p> <p>2. 青年期と自己形成の課題</p> <p>3. 職業生活と社会参加</p> <p>4. 現代社会と現代の生き方</p> <p>青年期の意義と特徴について理解し、自分自身が、自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが、自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付くことについて理解するよう学習する。</p> <p>教科書や副教材及び、一人一台端末を活用する。</p>	<p>【知識・技能】 人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に、青年期の意義や特徴、青年期の発達課題や自己形成の課題、職業や社会参加の意義への深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。</p>	○	○	○	4
<p>第2章 人間としてよく生きる</p> <p>【知識及び技能】 人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用し、自らが他者と共に納得できる解決方法を用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めさせる。</p>	<p>1. ギリシアの思想</p> <p>2. 宗教の教え</p> <p>3. 人間の尊重</p> <p>4. 人間の尊重</p> <p>5. 個人と社会</p> <p>6. 主体性の確立</p> <p>7. 他者の尊重</p> <p>8. 公正な社会</p> <p>・現代の諸課題について自らが他者と共に納得できる解決方法を見出すことに向け、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用することを通して、行為者自身の人間としての在り方生き方について探求すること、よりよく生きていく上で重要であることについて学習する。</p> <p>・人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。</p>	<p>【知識・技能】 選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。</p> <p>・現代の諸課題について自らが他者と共に納得できる解決方法を見出すことに向け、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用することを通して、行為者自身の人間としての在り方生き方について探求すること、よりよく生きていく上で重要であることについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用し、自らが他者と共に納得できる解決方法を見出すことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に、理想的な人間の生き方についての先哲の考え方や多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。</p>	○	○	○	8
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>第3章 社会とは何か</p> <p>【知識及び技能】 各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めさせる。</p>	<p>1. 人間の尊厳と平等</p> <p>2. 自由・権利と責任・義務</p> <p>教科書や副教材及び、一人一台端末を活用し、各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて学習する。</p>	<p>【知識・技能】 人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用し、自らが他者と共に納得できる解決方法を見出すことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由・権利と責任・義務といった公共的な空間における基本的原理について理解しようとしている。</p>	○	○	○	4
<p>第4章 民主国家における基本原理</p> <p>【知識及び技能】 各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めさせる。</p>	<p>1. 人権保障の発展と民主政治の成立</p> <p>2. 国民主権と民主政治の発展</p> <p>教科書や副教材及び、一人一台端末を活用し、個人の尊重、民主主義、法の支配など、公共的な空間における基本的原理について理解する。</p>	<p>【知識・技能】 個人の尊重、民主主義、法の支配など、公共的な空間における基本的原理について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、民主主義、法の支配といった公共的な空間における基本的原理について理解しようとしている。</p>	○	○	○	3

	<p>第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち 第1章 日本国憲法の基本的性格 【知識及び技能】 法や規範の意義及び役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解させる。 【思考力・判断力・表現力等】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、法や規範の意義及び役割、我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	<p>1. 日本国憲法の成立 2. 平和主義とわが国の安全 3. 基本的人権の保障 4. 人権の広がり</p> <p>・教科書や副教材を活用し、我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、日本国憲法の平和主義について理解を深めることができるようにするとともに、我が国の防衛に関する基本的な事柄にも触れながら、変化する国際情勢の中で、我が国の安全が世界の平和の維持といかに関連しているかについて学習する。 ・一人一台端末を活用し、現実社会の諸課題に関する諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。</p>	<p>【知識・技能】 法や規範の意義及び役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解している。 【思考・判断・表現】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、法や規範の意義及び役割、我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	<p>第2章 日本の政治機構と政治参加 【知識及び技能】 司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解させる。 【思考力・判断力・表現力等】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、司法参加の意義、政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	<p>1. 政治機構と国民生活 2. 人権保障と裁判所 3. 地方自治 4. 選挙と政党 5. 政治参加と世論</p> <p>教科書や副教材及び、一人一台端末を活用し、現実社会の諸課題に関する諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。</p>	<p>【知識・技能】 政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を整えて合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解している。 【思考・判断・表現】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、司法参加の意義、政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	8
	<p>第3章 現代の経済社会 【知識及び技能】 雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通じて資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解させる。 【思考力・判断力・表現力等】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	<p>1. 経済社会の形成と変容 資本主義経済の成立と展開、経済における政府の役割の変化について学習する。 2. 市場のしくみ 市場の機能、寡占や独占、外部不経済、情報の非対称性など市場機能の限界について学習する。 3. 現代の企業 企業の社会的な役割や社会的責任を理解し、グローバル化する社会の変化に応じた課題について学習する。 4. 経済成長と景気変動 経済の動きの指標としてのGDP、国富、景気変動、物価について、身近な視点も含めて学習する。 5. 金融機関の働き 金融の仕組みと金融機関の役割、通貨価値の安定や景気安定のための金融政策や金融の自由化などの動きについて学習する。 6. 政府の役割と財政・租税 政府の経済活動である財政にはどのような役割があるのかを学習する。</p>	<p>【知識・技能】 雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通じて資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
2 学 期	<p>第4章 経済活動のあり方と国民福祉 【知識及び技能】 多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通じて資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解させる。 【思考力・判断力・表現力等】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	<p>1. 日本経済の歩みと近年の課題 戦後復興、高度経済成長、バブル経済の発生と崩壊などの背景や要因について学習する。 2. 中小企業と農業 これからの中小企業や農業には、どのようなことが求められているのかを学習する。 3. 公害防止と環境保全 環境保護と経済成長は両立するべき概念であることを学習する。 4. 消費者問題 民法改正による成年年齢の引き下げでさまざまな権利と責任が生まれることを学習する。 5. 労働問題と雇用 労働契約の特性、労働法による労働者の権利保護の状況について学習する。 6. 社会保障 社会保障の考え方を知り、それらが歴史的にどのように制度化されてきたかについて学習する。</p> <p>教科書や副教材及び、一人一台端末を活用する。</p>	<p>【知識・技能】 多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通じて資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	8

3 学 期	<p>第5章 国際政治の動向と課題</p> <p>【知識及び技能】 国家主権、領土(領海、領空を含む。)、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関する現実社会の事柄や課題を基に、相互に対等なものとして尊重される主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割や領土が領空や領海を含むものであり、国民の基本的な生活を保障し資源を確保する領域であること、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、国家主権、領土(領海、領空を含む。)、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関する現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p> <p>定期考査</p>	<p>1. 国際社会における政治と法 主権国家と国際社会の成り立ちについて学習する。</p> <p>2. 国家安全保障と国際連合 国際連合が世界の平和と安全の維持のために多くの専門機関や関連機関と連携していることを学習する。</p> <p>3. 冷戦終結後の国際政治 冷戦の終結で、国際社会はどのように変化したのか学習する。</p> <p>4. 軍備競争と軍備縮小 冷戦期の軍拡競争以降、世界的な運動によって軍縮が進んでいることを学習する。</p> <p>5. 異なる人種・民族との共存 差別・抑圧、紛争や内戦などの問題を解決するために、国際社会はどのような取り組みをしているのか学習する。</p> <p>6. 国際平和と日本 日本の戦後外交について、外交の三原則に基づいて進められてきたことを学習する。</p> <p>教科書や副教材及び、一人一台端末を活用する。</p>	<p>【知識・技能】 国家主権、領土(領海、領空を含む。)、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関する現実社会の事柄や課題を基に、相互に対等なものとして尊重される主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割や領土が領空や領海を含むものであり、国民の基本的な生活を保障し資源を確保する領域であること、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に、主権国家間の国家利益を調整することについて学習したことを、他者との利害調整といった社会生活に生かそうとしている。</p>	○	○	○	8
	<p>定期考査</p>			○	○		1
	<p>第6章 国際経済の動向と課題</p> <p>【知識及び技能】 経済のグローバル化と相互依存関係の深まり(国際社会における貧困や格差の問題を含む。)などに関する現実社会の事柄や課題を基に、世界経済がより緊密に結び付き、経済活動が世界的な規模で自由に行われていること、一国の経済政策や経済活動が他国にも影響を与えるなど、国際社会において相互依存関係が一層深まっていること、国際社会における貧困や格差が解消されていない状況やこれらの解決が地球的な課題であることについて理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、経済のグローバル化と相互依存関係の深まり(国際社会における貧困や格差の問題を含む。)などに関する現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	<p>1. 国際経済のしくみ</p> <p>2. 国際経済体制の変化</p> <p>3. 経済のグローバル化と金融危機</p> <p>4. 地域経済統合と新興国</p> <p>5. ODAと経済協力</p> <p>教科書や副教材及び、一人一台端末を活用し、経済のグローバル化と相互依存関係の深まり(国際社会における貧困や格差の問題を含む。)などに関する現実社会の事柄や課題を基に、世界経済がより緊密に結び付き、経済活動が世界的な規模で自由に行われていること、一国の経済政策や経済活動が他国にも影響を与えるなど、国際社会において相互依存関係が一層深まっていること、国際社会における貧困や格差が解消されていない状況やこれらの解決が地球的な課題であることについて学習する。</p>	<p>【知識・技能】 経済のグローバル化と相互依存関係の深まり(国際社会における貧困や格差の問題を含む。)などに関する現実社会の事柄や課題を基に、世界経済がより緊密に結び付き、経済活動が世界的な規模で自由に行われていること、一国の経済政策や経済活動が他国にも影響を与えるなど、国際社会における貧困や格差が解消されていない状況やこれらの解決が地球的な課題であることについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、経済のグローバル化と相互依存関係の深まり(国際社会における貧困や格差の問題を含む。)などに関する現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	5
<p>第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち</p> <p>【知識及び技能】 地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだし、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだし、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、ともに生きる社会を築くという観点から課題を見いだし、諸課題を主体的に解決しようとしている。</p> <p>定期考査</p>	<p>持続可能な地域、国家・社会、国際社会づくりのためには何が必要だろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、現実社会の諸課題を探究する。 ・課題の探究に当たっては、法、政治及び経済などの個々の制度にとどまらず、各領域を横断して総合的に探究する。 <p>教科書や副教材及び、一人一台端末を活用する。</p>	<p>【知識・技能】 第1部で身に付けた選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理などを活用するとともに、第1部及び第2部で習得した知識及び技能を活用している。</p> <p>【思考・判断・表現】 地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだし、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、ともに生きる社会を築くという観点から課題を見いだし、諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	3	
<p>定期考査</p>			○	○		1	
						合計	
						70	

高等学校 令和7年度(2学年用) 教科 地理歴史 科目 日本史探究

教科: 地理歴史 科目: 日本史探究

単位数: 3 単位

対象学年組: 第2学年 A組～H組

使用教科書: (詳説日本史探究(山川出版社))

教科 地理歴史

目標: 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】 現代へと繋がる近現代社会の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、基礎知識を踏まえ、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目

日本史探究

の目標:

日本の歴史に関する基礎知識を習得した上で、社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	○近世から近代への転換 【知識及び技能】 開国と幕末の動乱および新政府の成立について基礎知識を得るとともに、当時の社会の特色を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 幕末期の動向や特徴について考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 幕末期の社会と文化の特色について明らかにしようとしている。	・近代社会の成立と社会の特色について考察する。 ・幕末期の文化の特色とその背景について理解する。	【知識及び理解】 幕末期の政治・経済・文化の特色について理解できているか。 【思考力、判断力、表現力等】 幕末期の社会の展開と特徴および各期の文化の背景と特色について考察し表現できているか。 【学びに向かう力、人間性等】 近代社会の展開と特徴および幕末期の文化の背景と特色について明らかにしようとしているか。	○	○	○	5
	○近代社会の成立と展開(明治期の政治・経済・文化) 【知識及び理解】 近代社会の成立と政治・経済に関する基礎知識を得るとともに、明治期の社会の特色を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 近代社会の特徴について考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 明治期の社会と文化の特色について明らかにしようとしている。	・近代社会の成立と社会の特色について考察する。 ・明治期の文化の特色とその背景について理解する。	【知識及び理解】 明治期の政治・経済・文化の特色について理解できているか。 【思考力、判断力、表現力等】 明治期の社会の展開と特徴および各期の文化の背景と特色について考察し表現できているか。 【学びに向かう力、人間性等】 近代社会の展開と特徴および明治期の文化の背景と特色について明らかにしようとしているか。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	○近代社会の成立と展開(明治・大正期の政治・経済・文化) 【知識及び理解】 近代社会の成立と政治・経済に関する基礎知識を得るとともに、明治・大正期の社会の特色を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 近代社会の特徴について考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 大正期の社会と文化の特色について明らかにしようとしている。	・近代社会の成立と社会の特色について考察する。 ・大正期の文化の特色とその背景について理解する。	【知識及び理解】 明治・大正期の政治・経済・文化の特色について理解できているか。 【思考力、判断力、表現力等】 明治・大正期の社会の展開と特徴および大正期の文化の背景と特色について考察し表現できているか。 【学びに向かう力、人間性等】 近代社会の展開と特徴および大正期の文化の背景と特色について明らかにしようとしているか。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		1

2 学 期	○近代社会の成立と展開Ⅰ（昭和戦前期の政治・経済） 【知識及び理解】昭和戦前期の政治・経済に関する基礎知識を得るとともに、社会の特色を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】昭和戦前期の社会の特徴について考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】昭和戦前期の社会の特色について明らかにしようとしている。	・昭和戦前期の社会の特色について考察する。	【知識及び理解】昭和戦前期の政治・経済の特色について理解できているか。 【思考力、判断力、表現力等】昭和戦前期の社会の展開と特徴とその背景と特色について考察し表現できているか。 【学びに向かう力、人間性等】昭和戦前期の社会の動向と展開と特徴について明らかにしようとしているか。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	○近代社会の成立と展開Ⅱ（昭和戦前期の政治・経済・文化） 【知識及び理解】昭和戦前期の政治・経済に関する基礎知識を得るとともに、社会の特色を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】昭和戦前期の社会の特徴について考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】昭和戦前期の社会と文化の特色について明らかにしようとしている。	・昭和戦前期の社会の特色について考察する。 ・昭和戦前期の文化の特色とその背景について理解する。	【知識及び理解】昭和戦前期の政治・経済・文化の特色について理解できているか。 【思考力、判断力、表現力等】昭和戦前期の社会の展開と特徴および当時の文化の背景と特色について考察し表現できているか。 【学びに向かう力、人間性等】昭和戦前期の社会の動向と展開と特徴および当時の文化の背景と特色について明らかにしようとしているか。	○	○	○	21
定期考査			○	○		1	
3 学 期	○戦後社会の成立と展開（戦後の政治・経済・文化） 【知識及び理解】戦後の政治・経済に関する基礎知識を得るとともに、社会の特色を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】戦後の社会の特徴について考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】戦後の社会と文化の特色について明らかにしようとしている。	・戦後の社会の動向と特色について考察する。 ・戦後の文化の特色とその背景について理解する。	【知識及び理解】戦後の政治・経済・文化の特色について理解できているか。 【思考力、判断力、表現力等】戦後の社会の展開と特徴および当時の文化の背景と特色について考察し表現できているか。 【学びに向かう力、人間性等】戦後の社会の動向と展開と特徴および当時の文化の背景と特色について明らかにしようとしているか。	○	○	○	26
	定期考査			○	○		1

年間授業計画 新様式例	
高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史探究	
教科：地理歴史	科目：世界史探究
対象学年組：第3学年 A組～H組	単位数：6単位
使用教科書：（山川出版社 詳説 世界史）	
教科 地理歴史	<p>社会的事象の歴史的新発見・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資を育成することを旨とする。</p> <p>【知識及び技能】 知識：世界の歴史の変化する諸事象について、世界とその日本の関係を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる歴史的過程を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 世界の歴史の変化する諸事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代とのつながりなどを着目し、【学びに向かう力、人間性等】 世界の歴史の変化する諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うこと。</p>
科目 世界史探究	<p>社会的事象の歴史的新発見・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、少人数制化、情報化、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資を育成することを旨とする。</p> <p>【知識及び技能】 世界の歴史の変化する諸事象について、世界とその日本の関係を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる歴史的過程を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 世界の歴史の変化する諸事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代とのつながりなどを着目し、【学びに向かう力、人間性等】 世界の歴史の変化する諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うこと。</p>

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
			知	思	態	
<p>・諸地域の歴史的特徴の形成</p> <p>【知識及び技能】 諸地域世界の成立と発展を地図資料とあわせて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 諸地域世界の成立と発展を多面的・多角的に考察している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 諸地域世界の成立と発展について、主体的に課題を設定し追究している。</p>	<p>古代史について、基本的な事項・事柄を精選して授業内容を構成し、各文明世界の特徴を理解させる。また、各文明世界同士の交流についても考察する。学習にあたっては、事項をただ暗記するだけでなく、説明できるように理解し、教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画、映像教材等を各自の端末等で活用する。必要に応じてオンライン教材等も活用する。</p>	<p>【知識・技能】 諸地域世界の成立と発展を地図資料とあわせて理解しているか。</p> <p>【思考・判断・表現】 諸地域世界の特徴を多面的・多角的に考察しているか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 諸地域世界の成立と発展について、主体的に課題を設定し追究しているか。</p>	○	○	○	20
<p>・諸地域の交流・再編</p> <p>【知識及び技能】 各文明世界相互の交流・抗争について、各地域・各国における社会的な変容に着目し、理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 各文明世界相互の交流・抗争について、課題を設定し、多面的・多角的に考察している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 各文明世界相互の交流・抗争について、現代世界の確立に着目し、主体的に課題を設定し、資料を活用して追究している。</p>	<p>古代の各文明世界相互の交流・抗争について、相互の交流の視点を重視して考察させる。各地域の特色を考察するにあたって、宗教などの文化的特徴についても理解を深めさせる。文化史や重要ポイントなど自習で学習を促される分野については、自習用の確学シートをオンラインで配布し、復習時に適宜確認テストを行う自習事項の定着を図っていく。</p>	<p>【知識・技能】 各文明世界相互の交流・抗争について、各地域・各国における社会的な変容に着目し、理解しているか。</p> <p>【思考・判断・表現】 各文明世界相互の交流・抗争について、課題を設定し、多面的・多角的に追究しているか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 各文明世界相互の交流・抗争について、現代世界との違いに着目する等して主体的に課題を設定し、資料を活用して追究しているか。</p>	○	○	○	20
<p>・近世世界の展開（近代への進）</p> <p>【知識及び技能】 アジアにおける諸帝国や主権国家体制の成立について、各地域・各国における社会的な変容に着目し、理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 大航海時代や地域世界へのヨーロッパ勢力の参入、宗教改革、主権国家体制の特色について学習する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主権国家体制の成立を現代の民主国家との違いに着目する等して主体的に課題を設定し、資料を活用して追究している。</p>	<p>アジアにおける諸帝国やヨーロッパにおける主権国家体制について、大航海時代とヨーロッパ勢力の地域世界への参入、宗教改革、主権国家体制の特色について学習する。</p> <p>教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画、映像教材等を各自の端末等で活用する。必要に応じてオンライン教材等も活用する。</p>	<p>【知識・技能】 アジアにおける諸帝国や主権国家体制の成立について、各地域・各国における社会的な変容に着目し、理解しているか。</p> <p>【思考・判断・表現】 大航海時代や地域世界へのヨーロッパ勢力の参入、宗教改革について、課題を設定し、多面的・多角的に追究しているか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 主権国家体制の成立を現代の民主国家との違いに着目する等して主体的に課題を設定し、資料を活用して追究しているか。</p>	○	○	○	20
<p>定期考査</p>			○	○	○	1
<p>・近代世界の成立</p> <p>【知識及び技能】 工業化の進展や市民革命、日本を含む東アジアにおける変動、国民国家の発展について学習する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 19世紀における欧米諸国の発展や日本の明治期における変容、東アジア諸地域の発展について、近代化という概念に着目して多面的・多角的に考察している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 大西洋三島貿易や植民地の形成、アジア諸地域における近代化の受容や反発について主体的に課題を設定し、追究している。</p>	<p>工業化の進展や市民革命、日本を含む東アジアにおける変動、国民国家の発展について学習する。</p> <p>教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画、映像教材等を各自の端末等で活用する。</p>	<p>【知識・技能】 工業化の進展や市民革命、日本を含む東アジアにおける変動、国民国家の発展について地図資料とあわせて理解しているか。</p> <p>【思考・判断・表現】 19世紀における欧米諸国の発展や日本の明治期における変容、東アジア諸地域の発展について、近代化という概念に着目して多面的・多角的に考察しているか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 大西洋三島貿易や植民地の形成、アジア諸地域における近代化の受容や反発について主体的に課題を設定し、追究しているか。</p>	○	○	○	15
<p>・帝国主義の展開とアジア</p> <p>【知識及び技能】 帝国主義やアフリカ分割、日露戦争や日露戦争について地図資料とあわせて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 第2次産業革命や日本における産業革命の特色、列強の二極分化について多面的・多角的に考察している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 日露戦争の国内外における影響について、資料等をもとに意欲的に追究しようとしている。</p>	<p>帝国主義の成立、世界分割、列強の二極分化について学習する。</p> <p>教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画、映像教材等を各自の端末等で活用する。</p>	<p>【知識・技能】 帝国主義やアフリカ分割、日露戦争や日露戦争について地図資料とあわせて理解しているか。</p> <p>【思考・判断・表現】 第2次産業革命や日本における産業革命の特色、列強の二極分化について多面的・多角的に考察しているか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 日露戦争の国内外における影響について、資料等をもとに意欲的に追究しようとしているか。</p>	○	○	○	15
<p>定期考査</p>			○	○	○	1
<p>・第一次世界大戦と大衆社会</p> <p>【知識及び技能】 第一次世界大戦や戦間期の国際社会の動向について地図資料とあわせて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 アジア・アフリカの民族運動や大衆化などの特質について、多面的・多角的に考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 第一次世界大戦後の社会の特質について学んだ概念を活用する。</p>	<p>第一次世界大戦、ロシア革命、戦間期の国際社会の動向、大衆消費社会の到来、民族運動や大衆化などの特質について学習する。</p> <p>教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画、映像教材等を各自の端末等で活用する。</p>	<p>【知識及び技能】 第一次世界大戦や戦間期の国際社会の動向について地図資料とあわせて理解しているか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 アジア・アフリカの民族運動や大衆化などの特質について、多面的・多角的に考察しているか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 第一次世界大戦後の社会の特質について学んだ概念を活用するなどして積極的に追究しようとしているか。</p>	○	○	○	10
<p>・経済危機と第二次世界大戦</p> <p>【知識及び技能】 戦間期の国際社会の変化について地図資料とあわせて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 全体主義やファシズムの特質について、多面的・多角的に考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦に至る経緯などについて自ら課題を設定し追究しようとしている。</p>	<p>世界恐慌やファシズムの台頭、日本における軍国主義の台頭、日中戦争や第二次世界大戦、太平洋戦争などについて学習する。</p> <p>教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画、映像教材等を各自の端末等で活用する。</p>	<p>【知識及び技能】 戦間期の国際社会の変化について地図資料とあわせて理解しているか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 全体主義やファシズムの特質について、多面的・多角的に考察しているか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦に至る経緯などについて自ら課題を設定するなどして意欲的に追究しようとしているか。</p>	○	○	○	10
<p>・戦後の国際秩序と日本の改革</p> <p>【知識及び技能】 戦後の国際秩序や占領下の日本の諸改革について地図資料とあわせて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 冷戦構造の歴史の起源について、多面的・多角的に考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 冷戦の深まりや朝鮮戦争などについて自ら課題を設定し追究しようとしている。</p>	<p>大西洋三島貿易など戦時中の連合国の国際秩序の抗争や冷戦の起源、朝鮮戦争やアジアにおける植民地の独立、占領下の日本における諸改革などについて学習する。</p> <p>教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画、映像教材等を各自の端末等で活用する。</p>	<p>【知識及び技能】 戦後の国際秩序や占領下の日本の諸改革について地図資料とあわせて理解しているか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 冷戦構造の特質について、多面的・多角的に考察しているか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 冷戦の深まりや朝鮮戦争などについて自ら課題を設定するなどして意欲的に追究しようとしているか。</p>	○	○	○	10
<p>定期考査</p>			○	○	○	1
<p>・冷戦と世界経済</p> <p>【知識及び技能】 冷戦の深まりや需給、キューバ危機などについて地図資料とあわせて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 日本の東アジア外交について資料に基づいて、多面的・多角的に考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 冷戦構造の歴史の起源について、多面的・多角的に考察する。</p>	<p>需給や多極化などの冷戦構造の変化や日本における高度経済成長、外交政策などについて学習する。</p> <p>教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画、映像教材等を各自の端末等で活用する。</p>	<p>【知識及び技能】 冷戦の深まりや需給、キューバ危機、デタント、新冷戦などについて地図資料とあわせて理解しているか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 日本の東アジア外交について資料に基づいて、多面的・多角的に考察しているか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 冷戦構造の変化などについて自ら課題を設定するなどして意欲的に追究しようとしているか。</p>	○	○	○	10
<p>・グローバル化する世界</p> <p>【知識及び技能】 東欧革命や冷戦の終結などについて地図資料とあわせて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 それまでの戦争とアフガニスタンやイラクでの戦争について、多面的・多角的に考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 地域紛争などについて自ら課題を設定するなどして意欲的に追究しようとしている。</p>	<p>東欧革命、天安門事件、冷戦の終結、湾岸戦争、対テロ戦争などをグローバル化の概念理解を促しながら学習する。</p> <p>教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画、映像教材等を各自の端末等で活用する。</p>	<p>【知識及び技能】 東欧革命や冷戦の終結などについて地図資料とあわせて理解しているか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 それまでの戦争とアフガニスタンやイラクでの戦争について、多面的・多角的に考察しているか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 地域紛争などについて自ら課題を設定するなどして意欲的に追究しようとしているか。</p>	○	○	○	10
<p>定期考査</p>			○	○	○	1
			○	○	○	1
			合計			144

高等学校 令和7年度 (3学年用) 教科

公民 科目 選択 政治・経済

教科: 政治・経済 科目: 選択 政治・経済 対象学年組: 第3学年 A組～ H組 選択者

単位数: 2 単位

使用教科書: (政治・経済 (東京書籍))

教科 公民

の目標:

- 【知識及び技能】
【思考力、判断力、表現力等】
【学びに向かう力、人間性等】

選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。
現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて攻勢に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身につける。
よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 選択 政治・経済

の目標:

Table with 3 columns: 【知識及び技能】, 【思考力、判断力、表現力等】, 【学びに向かう力、人間性等】. Each column contains detailed descriptions of learning objectives and skills.

Main curriculum table with columns: 単元の具体的な指導目標, 指導項目・内容, 評価規準, 知, 思, 態, 配当時間. It details the content for Unit 1 (Modern Japanese Politics) and Unit 2 (Modern Japanese Economy).

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和7年度 (3学年用) 教科

地理歴史 科目 発展日本史探究

教科: 地理歴史

科目: 発展日本史探究

単位数: 6 単位

対象学年組: 第 3 学年

使用教科書: 山川出版社 日本史探究

教科 地理歴史

の目標: 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

- 【知識及び技能】現代へと繋がる古代・中世社会の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、基礎知識を踏まえ、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
- 【学びに向かう力、人間性等】

科目 発展日本史探究

の目標: 日本の歴史に関する基礎知識を習得した上で、社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学 期	○日本文化のあけぼの 【知識及び技能】日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立と変容を、自然環境の変化や大陸との影響に着目して理解している。 【思考力、判断力、表現力等】黒曜石などの考古資料をもとに、集落・風習・食生活の変化などを踏まえて旧石器文化・縄文文化・弥生文化について考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成について考察することを通じて、旧石器文化・縄文文化・弥生文化の特色を明らかにしようとしている。	・人類文化の発生を考え、日本列島における旧石器文化・縄文文化の時代の社会を理解する。 ・大陸からの稲作伝播の様子や地域性の顕著な道具の分布を踏まえて、弥生文化の形成を考察する。	【知識及び技能】日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立と変容を、自然環境の変化や大陸との影響に着目して理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】黒曜石などの考古資料をもとに、集落・風習・食生活の変化などを踏まえて旧石器文化・縄文文化の社会について考察し、表現しているか。 【学びに向かう力、人間性等】黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成について考察することを通じて、旧石器文化や縄文文化の特色を明らかにしようとしているか。	○	○	○	
	○古墳とヤマト政権 【知識及び技能】前方後円墳を中心とした古墳文化の特質とその意義を基礎知識とともに理解している。 【思考力、判断力、表現力等】前方後円墳を中心とした考古資料をもとに、古墳時代の社会構造について考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】古墳時代の社会の特質と古代国家の形成期についての考察を通じて当時の文化や社会構造の特色を明らかにしようとしている。	・古代国家形成の過程と社会構造の特質を理解する。 ・古代国家形成を国内のみならず、中国大陸や朝鮮半島の情勢との関わりともに考察する。	【知識及び技能】古代国家の形成について大陸との関連と影響を含めて理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】古墳文化の展開をもとに社会の変化について考察し、表現しているか。 【学びに向かう力、人間性等】古代国家形成期における社会構造の変化について、その特色を明らかにしようとしているか。	○	○	○	
	○飛鳥の朝廷 【知識及び理解】律令国家へと向かう政治状況・文化的状況について、中国大陸や朝鮮半島情勢とともに理解している。 【思考力、判断力、表現力等】律令国家形成期における過程とその意義について考察し、得た情報を表現している。 【学びに向かう力、人間性等】律令国家形成期の社会の特質と飛鳥文化・白鳳文化の特色を明らかにしようとしている。	・中央集権体制樹立へと向かう過程とその意義について理解する。 ・中央集権体制の樹立について、中国大陸や朝鮮半島の情勢との関わりの中で考察する。	【知識及び理解】律令国家形成へと向かう状況について中国大陸・朝鮮半島情勢との関連と影響を含めて理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】律令国家形成過程とその意義について考察し、表現しているか。 【学びに向かう力、人間性等】律令国家形成期における社会状況と文化の特色を明らかにしようとしているか。	○	○	○	
	○律令国家の形成 【知識及び理解】律令国家完成期の政治状況・文化的状況についての基礎知識を得て、律令体制の特質を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】律令国家完成期における過程とその意義について考察し、得た情報を表現している。 【学びに向かう力、人間性等】律令国家完成期の社会の特質と天平文化の特色を明らかにしようとしている。	・律令制度の構造と意義について理解する。 ・律令制度完成期の社会と文化の特色を考察する。	【知識及び理解】律令国家完成期の政治と文化について、基礎知識とともに理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】律令制度の構造と意義について考察し、表現しているか。 【学びに向かう力、人間性等】律令国家完成期における社会状況と文化の特色を明らかにしようとしているか。	○	○	○	
	○貴族政治の展開 【知識及び理解】律令国家の変容と貴族政治の展開についての基礎知識を得るとともに、当時の社会の特色を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】律令国家の変容と貴族政治の展開と意義について考察し、得た情報を表現しているか。 【学びに向かう力、人間性等】貴族政治の展開とともに、弘仁・貞観文化、国風文化の特色を明らかにしようとしている。	・貴族政治の展開と弘仁・貞観文化、国風文化について理解し、その特色と文化の担い手を考察する。	【知識及び理解】貴族政治の展開と文化の特色について理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】貴族政治の展開と文化の特色について考察し、表現しているか。 【学びに向かう力、人間性等】貴族政治の展開と文化の特色を明らかにしようとしているか。	○	○	○	

	<p>○地方政治の展開と武士 【知識及び理解】地方政治と武士団の発生についての基礎知識を得るとともに、当時の社会状況について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】地方政治の展開と武士団の発生について、律令体制の変容と関連させて考察し、表現しているか。 【学びに向かう力、人間性等】律令体制の変容と地方政治の展開・武士団の発生との関連性について明らかにしようとしている。</p> <p>定期考査</p>	<p>・地方政治の展開と武士団の発生について、律令体制の変容と関連させて、その特質を考察する。</p>	<p>【知識及び理解】律令体制の変容とともに地方政治の展開と武士団の発生との関連性について理解できているか。 【思考力、判断力、表現力等】律令体制の変容と地方政治の展開と武士団の発生との関連性について考察し、表現しているか。 【学びに向かう力、人間性等】律令体制の変容と地方政治の展開と武士団の発生との関連性について明らかにしようとしているか。</p>	○	○	○		
	<p>○院政と武士の躍進 【知識及び理解】院政の始まりと平氏政権、院政期の文化についての基礎知識を得るとともに、当時の社会構造の変化との関連性を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】院政の特質と平氏政権について、社会構造の変容と関連させて考察し、表現しているか。 【学びに向かう力、人間性等】社会構造の変容と院政の始まりや特質、平氏政権の特徴について明らかにしようとしている。</p>	<p>・院政の始まりと特質、および平氏政権の特色について、社会構造の変容と関連させて考察する。 ・武士団の躍進および院政期の文化について理解する。</p>	<p>【知識及び理解】貴族社会の変容とともに、院政の始まりと特質、平氏政権との関連性について理解できているか。 【思考力、判断力、表現力等】貴族社会の変容と院政、平氏政権との関連性について考察し、表現できているか。 【学びに向かう力、人間性等】貴族社会の変容と院政、平氏政権との関連性について明らかにしようとしているか。</p>	○	○	○		
	<p>○武家政権の成立（鎌倉時代の政治・経済・文化） 【知識及び理解】鎌倉幕府の成立と武家社会の展開、鎌倉文化についての基礎知識を得るとともに、武家政権の特色を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】鎌倉幕府の成立と武家政権の特色について考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】武家政治と鎌倉文化の特色について明らかにしようとしている。</p>	<p>・鎌倉幕府の成立と武家政治の展開と特色について考察する。 ・鎌倉文化の特色とその背景について理解する。</p>	<p>【知識及び理解】武家政権成立過程とともに鎌倉文化の特色について理解できているか。 【思考力、判断力、表現力等】武家政権の展開と特徴および鎌倉文化の背景と特色について考察し表現できているか。 【学びに向かう力、人間性等】武家政権の展開と特徴および鎌倉文化の背景と特色について明らかにしようとしているか。</p>	○	○	○		
	<p>○武家社会の成長（室町時代の政治・経済・文化） 【知識及び理解】室町幕府の成立と政治・経済に関する基礎知識を得るとともに、室町時代の社会の特色を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】室町時代の社会の特徴について考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】室町時代の社会と文化の特色について明らかにしようとしている。</p> <p>定期考査</p>	<p>・室町幕府の成立と社会の特色について考察する。 ・室町文化の特色とその背景について理解する。</p>	<p>【知識及び理解】室町時代の政治・経済・文化の特色について理解できているか。 【思考力、判断力、表現力等】室町時代の社会の展開と特徴および室町文化の背景と特色について考察し表現できているか。 【学びに向かう力、人間性等】室町時代の社会の展開と特徴および室町文化の背景と特色について明らかにしようとしているか。</p>	○	○	○		
	<p>○武家社会の成長Ⅱ（安土桃山時代の政治・経済・文化） 【知識及び理解】織豊政権の成立と政治・経済に関する基礎知識を得るとともに、安土桃山時代の社会の特色を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】安土桃山時代の社会の特徴（中世から近世への転換）について考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】安土桃山時代の社会と文化の特色について明らかにしようとしている。</p>	<p>・織豊政権の成立と社会の特色（近世社会への転換）について考察する。 ・桃山文化の特色とその背景について理解する。</p>	<p>【知識及び理解】安土桃山時代の政治・経済・文化の特色について理解できているか。 【思考力、判断力、表現力等】安土桃山時代の社会の展開と特徴および室町文化の背景と特色について考察し表現できているか。 【学びに向かう力、人間性等】安土桃山時代の社会の展開と特徴および桃山文化の背景と特色について明らかにしようとしているか。</p>	○	○	○		
	<p>○幕藩体制の成立と展開（江戸時代の政治・経済・文化）から幕藩体制の動揺 【知識及び理解】江戸幕府の成立と政治・経済に関する基礎知識を得るとともに、江戸時代の社会の特色を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】江戸時代の社会の特徴（幕藩体制）について考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】江戸時代の社会と文化の特色について明らかにしようとしている。</p> <p>定期考査</p>	<p>・幕藩体制の成立と社会の特色について考察する。 ・江戸時代各期の文化の特色とその背景について理解する。</p>	<p>【知識及び理解】江戸時代の政治・経済・文化の特色について理解できているか。 【思考力、判断力、表現力等】江戸時代の社会の展開と特徴および各期の文化の背景と特色について考察し表現できているか。 【学びに向かう力、人間性等】江戸時代の社会の展開と特徴および各期の文化の背景と特色について明らかにしようとしているか。</p>	○	○	○		
	<p>○戦後社会の成立と展開（戦後の政治・経済・文化） 【知識及び理解】戦後の政治・経済に関する基礎知識を得るとともに、社会の特色を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】戦後の社会の特徴について考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】戦後の社会と文化の特色について明らかにしようとしている。</p>	<p>・戦後の社会の動向と特色について考察する。 ・戦後の文化の特色とその背景について理解する。</p>	<p>【知識及び理解】戦後の政治・経済・文化の特色について理解できているか。 【思考力、判断力、表現力等】戦後の社会の展開と特徴および当時の文化の背景と特色について考察し表現できているか。 【学びに向かう力、人間性等】戦後の社会の動向と展開と特徴および当時の文化の背景と特色について明らかにしようとしているか。</p>	○	○	○		
	<p>○テーマ史の学習 【知識及び理解】古代から現代までをテーマ別に分けて各テーマにおける特徴を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】各テーマに関する基礎知識と共にそれぞれの特徴や意義を考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】各テーマ毎にそれぞれの特徴や意義について明らかにしようとしている。</p>	<p>・テーマ史毎に、それぞれの特色について考察し、理解する。</p>	<p>【知識及び理解】テーマ史毎にそれぞれの特徴や意義について理解できているか。 【思考力、判断力、表現力等】テーマ史毎にそれぞれの特徴や意義について考察し表現できているか。 【学びに向かう力、人間性等】テーマ史毎にそれぞれの特徴や意義について明らかにしようとしているか。</p>	○	○	○		

2
学
期

3
学
期

年間授業計画

高等学校 令和7年度(3学年用) 教科

公民 科目 倫理

教科: 公民 科目: 倫理
 対象学年組: 第3学年 A組～ H組 選択者

単位数: 2 単位

使用教科書: 倫理 高等学校 (第一学習社)

教科 公民

の目標:

【知識及び技能】

主体的な選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】

現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて攻勢に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れたながら構想したことを議論する力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】

よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 倫理

の目標:

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

学ぶ生徒自身が自ら人生を切り拓いてゆく上で、主体的に選択し判断をするための手掛かりとなる概念や理論及び人間に関わる諸課題について理解を深め、教科書、資料集などから様々な情報を効果的に調べ適切にまとめる技能を向上させる。
 さらに、大学入試で出題される内容について理解を深め、適切に解答する力をつけてゆく。

生きてゆくうえでの困難な問題や複雑な事象について、倫理特有の抽象的思考になじみ、多面的・多角的に考察したり、具体的解決に向けての提言などをできるようにして、自身の社会参画や社会貢献を視野に入れた議論ができる力を身につける。

よりよい社会の実現をめざし、個人の尊重、自由、平等を基本理念としつつ、多面的な思考と多彩な学習方法を大切にすることで、自身と社会の諸問題の解決、ストレスの軽減に向けて努力できるようにする。特に平和の大切さを真摯に学び、異文化理解と相互親善を進め、国際協調の進展に寄与できるようにする。

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<p>【知識及び技能】 倫理のコア概念「幸福、愛、善、義務、真理、正義、存在、徳、自由、平等、人間性、理性、主体性、自然、社会、言語、生命」について、生徒各自理解を進め、現時点でのそれらへの論評など表現ができるようにする。哲学的対話について、そのあり方を学び、毎回の授業での発表のもとになる技量を伸ばす。 【思考力、判断力、表現力等】 現代に生きる自己を確立してゆくための知識を幅広く身につけ、他者と理解しあいながら主体的に判断できるような資質を育成する。 毎回の授業での意見発表の力を伸ばす 【学びに向かう力、人間性等】 倫理、哲学、知を愛し、すべてのことを他人事ではなく自分の問題として考え、他者とともに生きつつ、公共をつくってゆく主体性を育てる。</p>	<p>人間らしさを考える 人間の定義 和辻哲郎「間柄的存在」 青年期の心理、自由な精神が大人の条件 パーソナリティ 類型論 マズローの境界創設 アイデンティティ 生きがいー神谷美恵子 夜と霧ーフランクル 特別なあなたーブーバー タレスなど自然哲学者 ソフィスト、アキレスと亀の話 ソクラテス、脱獄について高野長英 プラトニーデア論 アリストテレス ヘレニズムの思想、深刻に考えない 新プラトン主義</p>	<p>【知識・技能】 授業内での質疑応答で理解や思考の深さや工夫をみる 倫理への関心の深さを重視する。 【思考・判断・表現】 発表、話し合いの機会での積極的な姿勢や、取り組み、発表内容の独自性などをみる。 生徒相互の評価も参考にする。 【主体的に学習に取り組む態度】 読書を奨励し、いかに本を読んだか、その前提として資料集などで原典の抜粋をいかに見つけたかを評価する。 また、文章表現力を重視し、意見やアイデアを書く小テストなどでの意欲、工夫、表現力などをみる。</p>	○	○	○	4
	<p>【知識及び技能】 世界の宗教についての理解を進め、自らの宗教観を確認するとともに、それら宗教や信仰について論評など表現ができるようにする。 先哲の思想、源流思想に思いを巡らし、人間の存在の根源を考え、さらに、毎回の授業での発表のもとになる思考力や理解力を伸ばす。 【思考力、判断力、表現力等】 現代に生きる自己を確立してゆくための知識を幅広く身につけ、他者と理解しあいながら主体的に判断できるような資質を育成する。 毎回の授業での意見発表の力を伸ばす 【学びに向かう力、人間性等】 倫理、哲学、知を愛し、すべてのことを他人事ではなく自分の問題として考え、他者とともに生きつつ、公共をつくってゆく主体性を育てる。</p>	<p>ユダヤ教の世界 イエス キリスト教発展(パウロ)コリント人の手紙 レベリジーザス(ジャクソン・ブラウン) カトリック教会の成立 教父哲学 スコラ哲学 キリスト教と今日 イスラーム イスラーム世界の拡大 インドの思想文化 ブッダの生涯と教え、子どもをなくして泣き叫ぶ母親への対応 仏教の誕生と展開 ゆるやかに考える 大乘仏教、空の思想</p>	<p>【知識・技能】 授業内での質疑応答で理解や思考の深さや工夫をみる 倫理への関心の深さを重視する。 【思考・判断・表現】 発表、話し合いの機会での積極的な姿勢や、取り組み、発表内容の独自性などをみる。 生徒相互の評価も参考にする。</p>	○	○	○	4
	<p>定期考査</p>	<p>全学習内容</p>	<p>得点</p>	○	○		1
	<p>【知識及び技能】 中国の思想およびアジア全体の文化に関する理解を進め、自らの人間観や宇宙観を再認識させ、それら思想や信仰について論評など表現ができるようにする。 先哲の思想、源流思想に思いを巡らし、人間の存在の根源を考え、さらに、毎回の授業での発表のもとになる思考力や理解力を伸ばす。 【思考力、判断力、表現力等】 現代に生きる自己を確立してゆくための知識を幅広く身につけ、他者と理解しあいながら主体的に判断できるような資質を育成する。 毎回の授業での意見発表の力を伸ばす 【学びに向かう力、人間性等】 倫理、哲学、知を愛し、すべてのことを他人事ではなく自分の問題として考え、他者とともに生きつつ、公共をつくってゆく主体性を育てる。</p>	<p>儒家の思想 朱子と王陽明 老荘思想 墨子と平和主義 法家の思想 宗教や芸術、 ピカソのゲルニカ、岡本太郎 小山台美術班の躍進 祈りの諸相 ルネサンス 人間の尊厳 宗教改革 モラリスト、モンテーニュ、バスキル</p>	<p>【知識・技能】 授業内での質疑応答で理解や思考の深さや工夫をみる 倫理への関心の深さを重視する。 【思考・判断・表現】 発表、話し合いの機会での積極的な姿勢や、取り組み、発表内容の独自性などをみる。 生徒相互の評価も参考にする。 【主体的に学習に取り組む態度】 読書を奨励し、いかに本を読んだか、その前提として資料集などで原典の抜粋をいかに見つけたかを評価する。 また、文章表現力を重視し、意見やアイデアを書く小テストなどでの意欲、工夫、表現力などをみる。</p>	○	○	○	4
	<p>【知識及び技能】 世界の宗教についての理解を進め、自らの宗教観を確認するとともに、それら宗教や信仰について論評など表現ができるようにする。 先哲の思想、源流思想に思いを巡らし、人間の存在の根源を考え、さらに、毎回の授業での発表のもとになる思考力や理解力を伸ばす。 【思考力、判断力、表現力等】 現代に生きる自己を確立してゆくための知識を幅広く身につけ、他者と理解しあいながら主体的に判断できるような資質を育成する。 毎回の授業での意見発表の力を伸ばす 【学びに向かう力、人間性等】 倫理、哲学、知を愛し、すべてのことを他人事ではなく自分の問題として考え、他者とともに生きつつ、公共をつくってゆく主体性を育てる。</p>	<p>科学革命の時代、ニュートン、ケプラー 経験論と合理論 社会契約説、ホッブズ、ロック、ルソー 百科全書派、ヴォルテール 人格の尊厳と自由、 カント哲学、 道徳法則、目的の王国 ドイツ観念論、 ヘーゲル、弁証法 功利主義、ベンサムとミル 幸福は副産物、他者危害の原則 実証主義と進化論</p>	<p>【知識・技能】 授業内での質疑応答で理解や思考の深さや工夫をみる 倫理への関心の深さを重視する。 【思考・判断・表現】 発表、話し合いの機会での積極的な姿勢や、取り組み、発表内容の独自性などをみる。 生徒相互の評価も参考にする。 【主体的に学習に取り組む態度】 読書を奨励し、いかに本を読んだか、その前提として資料集などで原典の抜粋をいかに見つけたかを評価する。 また、文章表現力を重視し、意見やアイデアを書く小テストなどでの意欲、工夫、表現力などをみる。</p>	○	○	○	4
<p>定期考査</p>	<p>全学習内容</p>		○	○		1	

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合A

教科： 地理歴史 科目： 歴史総合A 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ H 組

使用教科書：（ 山川出版社 歴史総合 近代から現代へ ）

教科 地理歴史 の目標： 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを旨とする。

【知識及び技能】 知識：近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。

【思考力、判断力、表現力等】 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。

科目 歴史総合A の目標： 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、少子高齢化、情報化、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての地理的・歴史的能力を育成することを旨とする。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識：近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・ 明治維新と日本の立憲体制 【知識及び技能】 明治維新の諸改革や外国との関係、立憲体制の成立について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 日本と清・朝鮮・ロシアとの外交関係について、史料や地図をもとに考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 自由民権運動や立憲体制の成立について、主体的に課題を設定し追究している。	・ 明治維新の諸改革や外国との関係、文明開化や自由民権運動、大日本帝国憲法の特質について学習する。 ・ 教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で活用する。	【知識・技能】 明治維新の諸改革や外国との関係、立憲体制の成立について理解しているか。 【思考・判断・表現】 日本と清・朝鮮・ロシアとの外交関係について、史料や地図をもとに考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自由民権運動や立憲体制の成立について、主体的に課題を設定し追究している。	○	○	○	7
	・ 帝国主義の展開とアジア 【知識及び技能】 帝国主義やアフリカ分割、日清戦争や日露戦争について地図資料とあわせて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 第2次産業革命や日本における産業革命の特質、列強の二極分化について多面的・多角的に考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 日露戦争の国内外における影響について、資料等をもとに意欲的に追究しようとしている。	・ 日清・日露戦争や帝国主義の成立、世界分割、列強の二極分化について学習する。 ・ 教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で活用する。	【知識・技能】 帝国主義やアフリカ分割、日清戦争や日露戦争について地図資料とあわせて理解しているか。 【思考・判断・表現】 第2次産業革命や日本における産業革命の特質、列強の二極分化について多面的・多角的に考察しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 日露戦争の国内外における影響について、資料等をもとに意欲的に追究しようとしているか。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		
2 学 期	・ 第一次世界大戦と大衆社会 【知識及び技能】 第一次世界大戦や戦間期の国際社会の動向について地図資料とあわせて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 アジア・アフリカの民族運動や大衆化などの特質について、多面的・多角的に考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 第一次世界大戦後の社会の特質について学んだ概念を活用するなどして自ら積極的に追究しようとしているか。	・ 第一次世界大戦、ロシア革命、戦間期の国際社会の動向、大量消費社会の到来、労働運動や民族運動の高揚などについて学習する。 ・ 教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で活用する。	【知識及び技能】 第一次世界大戦や戦間期の国際社会の動向について地図資料とあわせて理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】 アジア・アフリカの民族運動や大衆化などの特質について、多面的・多角的に考察しているか。 【学びに向かう力、人間性等】 第一次世界大戦後の社会の特質について学んだ概念を活用するなどして自ら積極的に追究しようとしているか。	○	○	○	8
	・ 経済危機と第二次世界大戦 【知識及び技能】 戦間期の国際社会の変化について地図資料とあわせて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 全体主義やファシズムの特質について、多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦に至る経緯などについて自ら課題を設定するなどして意欲的に追究しようとしているか。	・ 世界恐慌やファシズムの台頭、日本における軍国主義の台頭、日中戦争や第二次世界大戦、太平洋戦争などについて学習する。 ・ 教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で活用する。	【知識及び技能】 戦間期の国際社会の変化について地図資料とあわせて理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】 全体主義やファシズムの特質について、多面的・多角的に考察しているか。 【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦に至る経緯などについて自ら課題を設定するなどして意欲的に追究しようとしているか。	○	○	○	9
	・ 戦後の国際秩序と日本の改革 【知識及び技能】 戦後の国際秩序や占領下の日本の諸改革について地図資料とあわせて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 冷戦構造の歴史的な起源について、多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 冷戦の深まりや朝鮮戦争などについて自ら課題を設定するなどして意欲的に追究しようとしているか。	・ 大西洋憲章など戦時中の連合国の国際秩序の抗争や冷戦の起源、朝鮮戦争やアジアにおける植民地の独立、占領下の日本における諸改革などについて学習する。 ・ 教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で活用する。	【知識及び技能】 戦後の国際秩序や占領下の日本の諸改革について地図資料とあわせて理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】 冷戦構造の特質について、多面的・多角的に考察しているか。 【学びに向かう力、人間性等】 冷戦の深まりや朝鮮戦争などについて自ら課題を設定するなどして意欲的に追究しようとしているか。	○	○	○	2
	・ 冷戦と世界経済 【知識及び技能】 冷戦の深まりや雪どけ、キューバ危機、デタント、新冷戦などについて地図資料とあわせて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の東アジア外交について資料に基づいて、多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 冷戦構造の変化などについて自ら課題を設定するなどして意欲的に追究しようとしているか。	・ 雪どけや多極化などの冷戦構造の変化や日本における高度経済成長、外交政策などについて学習する。 ・ 教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で活用する。	【知識及び技能】 冷戦の深まりや雪どけ、キューバ危機、デタント、新冷戦などについて地図資料とあわせて理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の東アジア外交について資料に基づいて、多面的・多角的に考察しているか。 【学びに向かう力、人間性等】 冷戦構造の変化などについて自ら課題を設定するなどして意欲的に追究しようとしているか。	○	○	○	3
定期考査			○	○			

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和7年度 (3学年用) 教科 地理歴史 科目 歴史総合B

教科: 地理歴史 科目: 歴史総合B 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年 A 組～ H 組

使用教科書: (山川出版社 歴史総合 近代から現代へ)

教科 地理歴史

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを旨とする。

【知識及び技能】 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそれの中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。技能: 諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、少子高齢化、情報化、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての地理的技術や地理的な見方、考え方を習得する資質・能力を育成することを旨とする。

科目 歴史総合B

目標: 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、少子高齢化、情報化、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての地理的技術や地理的な見方、考え方を習得する資質・能力を育成することを旨とする。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識: 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそれの中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。技能: 諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
				知	思	態	
1 学期	・歴史とは何か。 【知識及び技能】 諸地域世界の成立と発展を地図資料とあわせて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 諸地域世界の特質を多面的・多角的に考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 諸地域世界の成立と発展について、主体的に課題を設定し追究している。	・東アジア・南アジア・東南アジア・西アジア・ヨーロッパを題材に、諸地域世界の形成や発展について社会的・文化的な特質について学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で活用する。	【知識・技能】 諸地域世界の成立と発展を地図資料とあわせて理解しているか。 【思考・判断・表現】 諸地域世界の特質を多面的・多角的に考察しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 諸地域世界の成立と発展について、主体的に課題を設定し追究しているか。	○	○	○	2
	・帝国主義の展開とアジア 【知識及び技能】 帝国主義やアフリカ分割、日清戦争や日露戦争について地図資料とあわせて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 第2次産業革命や日本における産業革命の特質、列強の二極分化について多面的・多角的に考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 日露戦争の国内外における影響について、資料等をもちに意欲的に追究しようとしている。	・日清・日露戦争や帝国主義の成立、世界分割、列強の二極分化について学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で活用する。	【知識・技能】 帝国主義やアフリカ分割、日清戦争や日露戦争について地図資料とあわせて理解しているか。 【思考・判断・表現】 第2次産業革命や日本における産業革命の特質、列強の二極分化について多面的・多角的に考察しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 日露戦争の国内外における影響について、資料等をもちに意欲的に追究しようとしているか。	○	○	○	10
	・第一次世界大戦と大衆社会 【知識及び技能】 第一次世界大戦や戦間期の国際社会の動向について地図資料とあわせて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 アジア・アフリカの民族運動や大衆化などの特質について、多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 第一次世界大戦後の社会の特質について学んだ概念を活用するなどして自ら積極的に追究しようとしている。	・第一次世界大戦、ロシア革命、戦間期の国際社会の動向、大量消費社会の到来、労働運動や民族運動の高揚などについて学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で活用する。	【知識・技能】 第一次世界大戦や戦間期の国際社会の動向について地図資料とあわせて理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】 アジア・アフリカの民族運動や大衆化などの特質について、多面的・多角的に考察しているか。 【学びに向かう力、人間性等】 第一次世界大戦後の社会の特質について学んだ概念を活用するなどして自ら積極的に追究しようとしているか。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		
2 学期	・経済危機と第二次世界大戦 【知識及び技能】 戦間期の国際社会の変化について地図資料とあわせて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 全体主義やファシズムの特質について、多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦に至る経緯などについて自ら課題を設定するなどして意欲的に追究しようとしている。	・世界恐慌やファシズムの台頭、日本における軍国主義の台頭、日中戦争や第二次世界大戦、太平洋戦争などについて学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で活用する。	【知識及び技能】 戦間期の国際社会の変化について地図資料とあわせて理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】 全体主義やファシズムの特質について、多面的・多角的に考察しているか。 【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦に至る経緯などについて自ら課題を設定するなどして意欲的に追究しようとしているか。	○	○	○	6
	・冷戦と世界経済 【知識及び技能】 冷戦の深まりや雪どけ、キューバ危機、デタント、新冷戦などについて地図資料とあわせて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の東アジア外交について資料に基づいて、多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 冷戦構造の変化などについて自ら課題を設定するなどして意欲的に追究しようとしている。	・雪どけや多極化などの冷戦構造の変化や日本における高度経済成長、外交政策などについて学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で活用する。	【知識及び技能】 冷戦の深まりや雪どけ、キューバ危機、デタント、新冷戦などについて地図資料とあわせて理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の東アジア外交について資料に基づいて、多面的・多角的に考察しているか。 【学びに向かう力、人間性等】 冷戦構造の変化などについて自ら課題を設定するなどして意欲的に追究しようとしているか。	○	○	○	3
	・グローバル化する世界 【知識及び技能】 東欧革命や冷戦の終焉などについて地図資料とあわせて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 それまでの戦争とアフガニスタンやイラクでの戦争について、多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 地域紛争などについて自ら課題を設定するなどして意欲的に追究しようとしている。	・東欧革命、天安門事件、冷戦の終焉、湾岸戦争、対テロ戦争などをグローバル化の概念理解を促しながら学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で活用する。	【知識及び技能】 東欧革命や冷戦の終焉などについて地図資料とあわせて理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】 それまでの戦争とアフガニスタンやイラクでの戦争について、多面的・多角的に考察しているか。 【学びに向かう力、人間性等】 地域紛争などについて自ら課題を設定するなどして意欲的に追究しようとしているか。	○	○	○	6
	・結びつく世界 【知識及び技能】 アジアにおける諸帝国や主権国家体制の成立について、各地域・各国における社会的な変容に着目し、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 大航海時代や地域世界へのヨーロッパ勢力の参入、宗教改革について、課題を設定し、多面的・多角的に考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 主権国家体制の成立を現代の民主国家との違いに着目するなどして主体的に課題を設定し、資料を活用して追究している。	・アジアにおける諸帝国やヨーロッパにおける主権国家体制について、大航海時代とヨーロッパ勢力の地域世界への参入、宗教改革、主権国家体制の特色について学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で活用する。	【知識・技能】 アジアにおける諸帝国や主権国家体制の成立について、各地域・各国における社会的な変容に着目し、理解しているか。 【思考・判断・表現】 大航海時代や地域世界へのヨーロッパ勢力の参入、宗教改革について、課題を設定し、多面的・多角的に追究しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 主権国家体制の成立を現代の民主国家との違いに着目するなどして主体的に課題を設定し、資料を活用して追究しているか。	○	○	○	1
・近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 【知識及び技能】 工業化の進展や市民革命、日本を含む東アジアにおける変動、国民国家の発展について地図資料とあわせて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 19世紀における欧米諸国の発展や日本の明治期における変革、東アジア諸地域の変動について、近代という概念に着目して多面的・多角的に考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 大西洋三角貿易や植民地の形成、アジア諸地域における近代化の受容や反発について主体的に課題を設定し、追究している。	・工業化の進展や市民革命、日本を含む東アジアにおける変動、国民国家の発展について学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で活用する。	【知識・技能】 工業化の進展や市民革命、日本を含む東アジアにおける変動、国民国家の発展について地図資料とあわせて理解しているか。 【思考・判断・表現】 19世紀における欧米諸国の発展や日本の明治期における変革、東アジア諸地域の変動について、近代化という概念に着目して多面的・多角的に考察しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 大西洋三角貿易や植民地の形成、アジア諸地域における近代化の受容や反発について主体的に課題を設定し、追究しているか。	○	○	○	6	
定期考査			○	○			